**第２学年１組　算数科学習指導案**

**1 題材名**　はこの形をしらべよう

**2 本時の学習**（2／5時）

　（1）目標

　　　〇同じ形の条件として、２つの図形を重ねてぴったりと重なるならば同じ形といえ

　　　　るということや、同じ形の長方形が２つずつ３組あるという面の特徴を理解する

　　　　ことができる。　　　　　　　　　　　　　（数量や図形に対する知識・理解）

（2）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | ○指導上の留意点 | 時間 |
| 1 前回の学習を振り返り、本時の課題を知る。  C1　面はみんな長方形になっています。  C2　面の数は6つです。  C3　同じ形の面は2つずつあります。  めあて　うつしとった画用紙を切りとって、はこの形をしらべよう。  2　写し取った画用紙を切りとって、実際に2つずつ同じ形の長方形か調べる。  3さいころの形について、写し取って切る作業をして、面の形や数を調べる。  4箱の形とさいころの形の共通点や相違点をまとめる。  C6　面の数は、どちらも６つです。  C7　面の形は、長方形と正方形です。  C8　2つずつ3組と、6つ同じ形です。 | ○実際に箱を見せながら確認し、面という言葉や長方形が6つあることを意識できるようにする。  〇長方形であることを、三角定規などで確認したということを振り返るように促す。  〇長方形の定義として、４つの辺からできていることを振り返るように促す。  ○主体的に画用紙に写した面を切り取る活動ができるように、どうすれば同じ形であることを明らかにできるのか考えられるようにする。  ○はさみを使用するため、安全面に配慮するように促す。  〇なんとなく重ね合わせるのではなく、合同の学習に繋げていくためにも、ぴったり重ねるということを意識できるようにする。  〇さいころを切る活動に意欲的に取り組むことができるように動機付けができるようにする。  〇グループで1つのサイコロを使って活動し、協力して作業ができるように促す。  ○同じ形の条件として、ぴったり重なると同じ形であるといえることを改めて理解できるようにする。  〇正方形かどうかの判断を、正方形の定義に戻って判断させるようにする。  〇箱の形を調べたときの方法を活用して、調べるように促す。  〇長方形を切りとった紙と、サイコロの形を切りとったものを見比べて比較できるようにする。  まとめ　箱の形とサイコロの形の同じところと違うところ  同じところ　　面の数が６つ  違うところ　　面の形　同じ面の数  　　　　同じ形の面が2つずつ3組ある。 | 5  10  20  10 |

**3 備考**　在籍児童数　35名

**4 板書計画**

　まとめ

箱の形とサイコロの形の同じところと違うところ

同じところ　　面の数が６つ

違うところ　　面の形　同じ面の数

〇さいころの面の形についてわかったこと

　・正方形

　・同じ形の面が6つ

〇はこの面の形についてわかったこと

　・面の数は6つ

　・長方形

　・同じ形の面は2つずつ

　・同じ形の面が2つずつ3組

めあて　うつしとった画用紙を切りとって、はこの形をしらべよう。